

第23回 同窓会クリスマス礼拝

「天に栄光 地に平和」——ルカによる福音書2章1〜20節

青山学院大学コミュニケーションイノベーション人間科学部准教授・宗教主任 吉岡 康子 先生



「宿屋には彼らの泊まる所がなかったからである。」(ルカ2章7節)とあります。人の心にも、その生活にも神の子をお迎えするベビーベッドはありませんでした。しかたなく飼い葉桶が使われます。毎日羊や牛や馬が使っているものです。清潔なものではありません。人間の食事のゴミとなった廃棄物のようなものも放り込まれていました。言ってみれば、生活のゴミ箱のようなものです。どのような家にも部屋にもあるものです。私たちにあって不要と思われるものを放り込むその場所に神の子が今眠っているのです。

またそれは、私たちの心にも必ずあるものと言つてよいでしょう。私たちの失敗、苦しみ、傷、病氣、痛み、悩みの種。出来るなら捨て去って、葬り去ってしまいたいものを放り込んでおく場所です。しかし、そこに神の子がおりられるので、この貧しさと、惨めさ、低さに、神の恵みの光が宿られたのです。キラキラした光の中を、胸を張って堂々と前進している時に神に出会うのは難しいものです。けれどもどんなに光をあげて、自分の力で人生を切り開いてきた人でも、いつか必ず立ち止まる時がきます。思いもかけない試練や痛みが起ります。しかし、その時その場所にこそ神の子はおられるのです。そこで私達は神と出会い、まことの恵みと救いと慰めを頂くのです。わたしの飼い葉桶のただなかに、私の救いがあるのです。私たちの救い主がそこで、他でもない私を待っておられるのです。この救いを、今日私の救いとして確かに受け取りたいと思います。それはたとえどのような混乱・苦難のなかにあっても、神さまは私と私たちと共にいてくださることを示します。私たちが神さまを忘れ、また神さまを捨てようとしても、神さまは私たちを忘れません。決して捨てません。神さまの愛と恵みは、いつも私たちを包んでいます。このように神さまの愛をたくさんいただいている私たちにとって

クリスマスは、さまざまなものとの敵意と断絶を超えて、和解と本当の平和をもたらすために「決心して一歩、踏み出す」時なのです。

礼拝ご報告

12月9日、短大礼拝堂において吉岡康子先生にクリスマスメッセージを賜り、奏楽は青山学院大学オルガンスト松浦光子先生、司式は蓑口由美子運営委員によるクリスマス礼拝を執り行いました。

ハンドベル・クワイア(ベル・ノート)は、短大本館2階多目的室での練習を重ね、「Joy to the World」「O Little Town of Bethlehem」「O Holy Night」が再び母校の礼拝堂に響きました。「聖書と讃美歌の会」に所属する運営委員が献金奉仕と感謝の祈りをささげ、同窓生一同、聖書協会共同訳聖書で福音を味わい、讃美歌を賛美し主のご降誕の喜びにあふれました。



芸術学科
会・現代教
養学科会
顧問
趙慶姫
先生にご出
席いただき、
100名を超えての集いとなりました。
また、ご尽力いただいた宗教センター
のお取り計らいに感謝いたします。文
化スポーツ事業部のグループ活動や、
一年を締めくくるクリスマス礼拝の行
事のお知らせなど同窓会ホームページ
と合わせてご覧いただき一人でも多く
同窓会クリスマス礼拝の恵みに満たさ
れますように願います。



文化スポーツ事業部
54C 蓑口由美子(山本)

献金の送り先 (2023年度)

献金の送り先 (2023年度)	合計 83,231円
①公益財団法人 日本キリスト教婦人矯風会「女性の家 HELP」	13,231円
②日本基督教団 新生釜石教会	7,000円
③日本基督教団 宮古教会	7,000円
④NPO法人 東北ヘルプ	7,000円
⑤社会福祉法人 神戸いのちの電話	7,000円
⑥社会福祉法人 東京いのちの電話	7,000円
⑦NPO法人 信州 共働学舎	7,000円
⑧社会福祉法人 鎌倉 薫風学園	7,000円
⑨社会福祉法人 興望館 杏掛学荘	7,000円
⑩学校法人 アジア学院	7,000円
⑪NPO法人 アジアキリスト教教育基金	7,000円